

大学院大学至善館 学則

2017年9月1日
制定

第1章 総則

(趣旨)

第1条 大学院大学至善館学則は、大学院大学至善館(以下、「本学」という。)について必要な事項を定めるものとする。

(学術院)

第2条 本学にイノベーション経営学術院を置く。

(課程)

第3条 イノベーション経営学術院に経営修士(専門職)課程を置く。

(専攻)

第4条 イノベーション経営学術院にイノベーション経営専攻を置く。

(学術院の教育研究上の目的)

第5条 社会全体のイノベーションを牽引することで世界の持続的かつ安定的な発展に貢献するという使命感を持ち、22世紀までを視野に入れた事業・組織経営のあり方を構想し、自らリーダーシップを発揮していく中で周囲の共感と信頼を得て人と組織を動かし、構想を実現できる人材を育成する。同時に、新たな全人格リーダーの育成プログラムを確立し、世界のリーダーシップ教育の革新を牽引する。研究活動においては、西洋の合理性とアジアの精神土壌を橋渡しし融合することを目指し、より包摂的かつ持続可能な経済社会像、企業像、組織像のあり方を探究することで、豊穡で安寧な人類社会の未来に貢献する。

(入学定員)

第6条 定員は以下の通りとする。

イノベーション経営学術院

イノベーション経営専攻	入学定員	収容定員
	80名	160名

第2章 修業年限、学年、学期及び休養日

(修業年限)

第7条 修士課程の標準修業年限は2年とし、最長5年まで延長することができる。但し、留学生に対する延長年数については、大使館、領事館等により学生ビザが発給された期間を優先するものとする。

(学年)

第8条 学年は8月20日に始まり翌年8月19日に終了する。

(学期)

第9条 本学は学期を分けて次の2学期とする。
前期(秋学期) 8月20日から翌年1月10日まで
後期(春学期) 1月11日から8月19日まで

(休業日)

第10条 休業日は次の通りとする。
(1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
(2) 冬季休業日 12月28日～翌年1月4日
(3) 夏季休業日 8月1日～8月10日
2 必要がある場合、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。
3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる
4 休業日でも、特別の必要があるときは、授業を行うことがある。

第3章 教員及び教職員組織

(教員組織)

第11条 本学には、学長のほか、学術院長及び専任教員を置く。また、必要に応じて5名までの副学長を置くことができる。
(1) 学長は、大学院の校務をつかさどり、所属職員を統督する。
(2) 学術院長は、学術院に関する教務をつかさどる。
(3) 学長は、学術院長を兼ねることができる。
(4) 副学長は、学長を助け、命を受けて大学院の校務をつかさどる。
(5) 学術院長は、学長が兼務する場合を除き、副学長を兼ねることができる。
2 学長、学術院長及び副学長の任期は、4年を原則とする。但し、特別な事情があり、理事会が認めた場合には、この限りではない。

(教授会とその構成員)

第12条 本学に教授会を置く。
2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
(1) 授業・指導、及び教員の採用・人事に関する事項

- (2) 入学・休学・退学等、学生の身分に関する事項
- (3) 研究等の成果、修了の審査及び学位の授与に関する事項
- (4) 学生の指導、及び賞罰に関する事項
- (5) その他学術院長が必要と認め、理事会の承認を受けた教育研究に関する重要な事項

- 3 教授会は、本学の専任教員、事務局長、学長並びに学術院長の任命した兼任教員及び事務職員をもって組織する。
- 4 教授会の運営等に関する事項については、大学院大学至善館教授会規程に定める。

(職員組織)

第13条 本学には、教務、学生対応、経理、事務などそれぞれの業務を担当する職員を置くものとする。職員の組織については別に定める。

第4章 教育課程及び履修方法

(授業科目と履修方法)

- 第14条 本学の授業科目、単位数は別表1の通りとし、履修方法等に関する事項は、別に定める。
- 2 第1項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で実施することができるものとする。
 - 3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。
 - 4 第1項の授業は、本学の校舎及び付属施設以外の場所で行うことができる。

(単位)

- 第15条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。
- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 授業科目について、講義、演習、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(単位の認定及び成績の評価)

第16条 授業科目を履修した者に対しては、試験その他の方法によって、その合格者に所定の単位を与える。

(修了要件)

第17条 本学の課程の修了要件については、所定の科目において 41 単位以上を修得することとする。

(学位の授与)

第18条 本学の課程を修了した者には経営修士(専門職)の学位を授与する。

第5章 入学、退学、転学、休学及び卒業

(入学の資格)

第19条 修士課程に入学することのできる者は、次の各号の 1 に該当する者とする。

- (1) 大学を卒業した者。
- (2) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 68 条の 2 第 3 項の規則より大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- (4) 文部科学大臣の指定した者。
- (5) 本学において修了課程を受けるにふさわしい学力および実務経験があると認められた者。

(入学の出願)

第20条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に検定料 35,000 円をそえて提出しなければならない。但し、特別の事情があると認めるときは、学長は、検定料を免除することができる。

(入学者の選考)

第21条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選抜を行う。

(入学の手続き及び入学許可)

第22条 前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに本学所定の書類を提出するとともに、別に定める学費を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(転入学)

第23条 他の大学院の学生で、本学へ転入学を志望するものがあつた場合には、本学はその事由及び学力等を審査したうえで、これを許可することができる。

(留学)

第24条 本学は、教育上有益と認める時は、外国の大学院との協議に基づき、学生が当該大学院に留学することを認めることができる。

2 前項の規定により学生が留学する場合は、休学の取り扱いをしないものとする。

(休学)

第25条 病気その他やむを得ない事情により修学することができないと本院が認めた者は、学長の許可を得て休学することができる。

2 病気等のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学の取り扱い)

第26条 休学期間は、通算して2年を超えることはできない。

2 休学者は、休学した学期の試験を受けることはできない。

3 休学者は、休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

4 休学の期間は第7条の在学年限に算入しない。

5 休学期間中の学費については別に定めるところによる。

(退学及び再入学)

第27条 退学しようとする者は、退学を願い出て学長の許可を受けなければならない。

2 退学した者で、3年以内に再入学を願い出た場合は、教授会の議を経て、これを許可することがある。この場合、退学以前の在学期間及び単位取得科目は、所定の在学年限及び単位取得科目に算入する。

3 再入学を志願する者は、本学所定の書類に再入学選考料を添えて提出しなければならない。

(除籍)

第28条 次の各号の一つに該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

(1) 第7条に定める在学年限を超えた者

(2) 学費の納付を1か月以上、無届で怠り、納付しない者

(3) 第26条に定める休学の期間を超えてなお修学できない者

(4) 登録された連絡先において1年間音信不通となる等、長期間にわたり行方不明の者

(5) 死亡の届出等があった者

(6) 出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格の入国査証を取得見込みであった学生のうち、査証の発給が拒否された者

第6章 入学料及び授業料の徴収について

(入学料及び授業料)

第29条 本学の入学料及び授業料は、次のとおりとする。

区 分	費 用
入学料	200,000 円
授業料(1年目)	2,400,000 円
授業料(2年目)	2,400,000 円

(授業料等の徴収)

第30条 入学を許可された者は、入学金、授業料等を指定された入学手続き期間内に納めなければならない。

- 2 在學生は、授業料等を年額一括又は学期ごとに 2 回に分けて納めなければならない。2 回に分けて納める場合は、それぞれ次の期間内に納めなければならない。

区分	納期
前期(8月20日から1月10日まで)	7月末日まで
後期(1月11日から8月19日まで)	12月末日まで

- 3 授業料等は休学中もこれを納めなければならない。但し、休学期間が授業料等納入区分の前期または、後期の期間の全部となる場合は、その該当学期の授業料を免除する。但し、休学を承認された者は休学在籍料として別に定める額を納入しなければならない。
- 4 学期の途中で復学した場合は、復学した日の属する該当学期の授業料を、その月の末日までに納めなければならない。
- 5 学期の途中において、第27条第2項の規定による退学及び第28条の規定による除籍の場合は、その退学日、除籍日の属する該当学期の授業料を納めなければならない。
- 6 第27条第3項により、再入学を許可された者は、入学金及び授業料を指定された再入学手続き期間内に納めなければならない。
- 7 いったん納入した入学検定料、再入学選考料及び学費は返還しない。但し、翌年度以降の学期分の授業料等を前納していた者が翌年度開始前に休学した場合には、翌年度以降の学期分の前納授業料を返還する。休学期間が第2項に定める授業料等納入区分の前期または、後期の期間の全部となる場合は、その該当学期の授業料を返還する。

第7章 賞罰

(表彰)

第31条 人物及び学業の優秀な者、また学生として模範的行為があった者については、学長は教授会にはかって、これを表彰することがある。

(懲戒)

第32条 本学則又は本学で定める諸規則にしたがわず、その他学生にあるまじき行為があったときは、学長は教授会にはかって懲戒することがある。

- 2 懲戒には、戒告、有期の停学及び退学の3つがある。
- (1) 戒告 ... 過失の是正を促し、改善の注意をする
- (2) 停学 ... 登校停止を命じる。なお、ここに定める有期の停学とは、6月未満とする。
- (3) 退学 ... 本学の学生としての身分を剥奪する。

(学則の変更)

第33条 この学則の改廃は、本学教授会の議を経て、理事会の承認を得なければならぬ。

附則

1. この学則は、平成 30 年 8 月 1 日から施行する

別表1)教育課程

(イノベーション経営学術院イノベーション経営専攻)								
区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		備考
			必須	選択	自由	講義	演習	
イノベーション経営基礎科目	リーダーの基礎シッ プ	世界と未来に対峙するリーダーの条件	1前	1			○	【必修】 21単位 【選択必修】 ①外部環境の本質的理解から2単位以上 ②構想し検証する力から1単位以上
		自己との対峙と基軸の確認	1後	1			○	
		キャリア・デザイン	2前	1			○	
	本外部環境 理解の	企業論ー企業、市場そして社会ー	1前	1			○	
		近代哲学、資本主義、人間存在の未来	1前	2			○	
		宗教から考察する社会構造と世界の多様性	1後	2			○	
		社会システムの理論と人間存在の未来	1前		1		○	
		日本の歴史と文明	1後		1		○	
		科学技術・イノベーションと人間存在の未来	1後		1		○	
	構想し 検証する 力	市場の原理と企業金融の理論	1前	1			○	
		財務分析評価と経営管理の梃子	1前	2			○	
		システム思考と持続可能性への挑戦	1前	2			○	
		戦略手法と戦略思考	1後	2			○	
		構想するカーデザイン思考とマーケティングの基礎ー	1後	2			○	
		構想を具現化する力 ーデザイン思考による創造的問題解決の実践ー	1後	2			○	
		事業計画の作成	2前	2			○	
		論理的思考	1前		1		○	
		マーケティング・イノベーションと市場創造への挑戦	1後		1		○	
		未来洞察の手法と実践	1後		1		○	
イノベーション経営 専門科目	組織と経営	経営政策の論理と実践	2前	2			○	【選択必修】 2単位以上
		グローバル戦略と経営	2前	2			○	
		事業再生の経営	2後	1			○	
	起業と 事業 創造	アントレプレナーシップ	2前	2			○	
		ビジネスモデルの分析と構築	2前	2			○	
	イノベ ーシ ョ ン と 社 会	公共哲学と政策立案	2前	2			○	
		都市と地域の戦略経営	2前	2			○	
		ソーシャルビジネスとインパクト	2後	2			○	
	イノベーション経営 展開科目	人を動かす	思いとビジョンを伝える技法	2前	1			
人と組織のマネジメント			2前	2			○	
変革と創造のリーダーシップ			2後	1			○	
意思決定と 交渉		リーダーとしての意思決定	2前・後	2			○	
		リーダーシップと交渉学	2後	2			○	
リー ダ ー シ ッ プ を 磨 く		東洋思想に見るリーダーシップ	1後	1			○	
		リーダーとしての生き方	2後	2			○	
		自分にとってのリーダーシップー他者・世界との対峙ー	2前		1		○	
		身体感覚と内省 (ヨガと瞑想)	1・2通			1	○	
		リーダーに求められる心の在り方 (坐禅と講話)	1・2通				1	○
演習科目	実地演習 (フィールドスタ ディ)	フィールドスタディ(インドトリップ)	1休		1		○	【必修】 3単位 【選択必修】 4単位以上
	グ ル ー プ 演 習	グループ演習Ⅰ (世界の鳥瞰と価値観の相克)	1前	1			○	
		グループ演習Ⅱ (世界を見るまなざしーパフォーミングアーツを通じてー)	1後	1			○	
		グループ演習Ⅲ (人と向き合い人を動かすリーダーシップ)	2後	1			○	
	個 人 演 習	個人演習(事業戦略)	2通		4		○	
		個人演習(組織開発・組織経営)	2通		4		○	
		個人演習(起業・社内起業)	2通		4		○	
		個人演習(社会起業・地域づくり)	2通		4		○	
		個人演習(公共政策)	2通		4		○	
合計(46科目)			-	28	49	3	-	
卒業要件必要単位			41単位以上					

別表1) 教育課程

(イノベーション経営学院イノベーション経営専攻)

区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態		備考
			必須	選択	自由	講義	演習	
イノベーション経営基礎科目	リーダーの基礎 シンク	世界と未来に対峙するリーダーの条件	1前	1			○	【必修】 21単位 【選択必修】 ①外部環境の本質的理解から2単位以上 ②構想し検証する力から1単位以上
		自己との対峙と基軸の確認	1後	1			○	
		キャリア・デザイン	2前	1			○	
	本・外部環境の 本質的理解の	企業論－企業、市場そして社会－	1前	1			○	
		近代哲学、資本主義、人間存在の未来	1前	2			○	
		宗教から考察する社会構造と世界の多様性	1後	2			○	
		社会システムの理論と人間存在の未来	1後	1			○	
		日本の歴史と文明	1後	1			○	
		科学技術・イノベーションと人間存在の未来	1前	1			○	
	構想し 検証する 力	市場の原理と企業金融の理論	1前	1			○	
		財務分析評価と経営管理の概子	1前	2			○	
		システム思考と持続可能性への挑戦	1前	2			○	
		戦略手法と戦略思考	1後	2			○	
		構想する力－デザイン思考とマーケティングの基礎－	1後	2			○	
		構想を具現化する力－ デザイン思考による創造的問題解決の実践－	1後	2			○	
		事業計画の作成	2前	2			○	
		論理的思考	1後	1			○	
		マーケティング・イノベーションと市場創造への挑戦	1後	1			○	
		未来洞察の手法と実践	1後	1			○	
イノベーション経営専門科目	組織と経営	経営政策の論理と実践	2前	2			○	【選択必修】 2単位以上
		グローバル戦略と経営	2前	2			○	
		事業再生の経営	2後	1			○	
	起業と事業 創造	アントレプレナーシップ	2前	2			○	
		ビジネスモデルの分析と構築	2前	2			○	
	イノベーション政策と社会	公共哲学と政策立案	2前	2			○	
都市と地域の戦略経営		2前	2			○		
ソーシャルビジネスとインパクト		2後	2			○		
イノベーション経営展開科目	人を動かす	思いとビジョンを伝える技法	2前	1			○	【必修】 4単位 【選択必修】 4単位以上
		人と組織のマネジメント	2前	2			○	
		変革と創造のリーダーシップ	2後	1			○	
	意思決定と 交渉	リーダーとしての意思決定	2前・後	2			○	
		リーダーシップと交渉学	2後	2			○	
	リーダー シップを 磨く	東洋思想に見るリーダーシップ	1後	1			○	
		リーダーとしての生き方	2後	2			○	
		自分にとってのリーダーシップ－他者・世界との対峙－	2前	1			○	
		身体感覚と内省 (ヨーガと瞑想)	1・2通		1		○	
		リーダーに求められる心の在り方 (坐禅と講話)	1・2通		1		○	
演習科目	実地演習 (フィールドスタ ディ)	フィールドスタディ(インドトリップ)	1休		1		○	【必修】 3単位 【選択必修】 4単位以上
		グ ループ 演習	グループ演習Ⅰ (世界の鳥瞰と価値観の相克)	1前	1			
	グループ演習Ⅱ (世界を見るまなざし－パフォーミングアーツを通じて－)		1後	1			○	
	グループ演習Ⅲ (人と向き合い人を動かすリーダーシップ)		2後	1			○	
	個人 演習	個人演習(事業戦略)	2通	4			○	
		個人演習(組織開発・組織経営)	2通	4			○	
		個人演習(起業・社内起業)	2通	4			○	
		個人演習(社会起業・地域づくり)	2通	4			○	
個人演習(公共政策)		2通	4			○		
合計(46科目)			-	28	49	3	-	
卒業要件必要単位 41単位以上								

Graduate School of Leadership and Innovation Shizenkan University Regulations

Established on September 1, 2017

Section 1. General Provisions

Article 1 Purpose

Graduate School of Leadership and Innovation Shizenkan University Regulations shall determine necessary matters for the Graduate School of Leadership and Innovation Shizenkan University (hereinafter referred to as "the University").

Article 2 Department

The University shall establish the Department of Leadership and Innovation.

Article 3 Course

The Department of Leadership and Innovation offers a master's course in Design & Leadership for Societal Innovation.

Article 4 Major

The Department of Leadership and Innovation specializes in Leadership and Innovation.

Article 5 Educational and Research Purpose

The mission of the University is to train people, capable of contributing to the sustainability and constant development of the world by leading innovation of society as a whole, having a vision of business and organizational management with the perspective of the 22nd century, as well as being able to move people and organizations by gaining trust and empathy of surroundings and expressing one's leadership. At the same time, establish a new "whole-person" leader-training program and drive the world's leadership in innovative education. In research activities, the University aims to bridge and integrate the rationality of the West with the spiritual soil of Asia and contribute to the future of a prosperous and safe human society by exploring more inclusive and sustainable economic systems, its corporate and organizational style.

Article 6 Admission Quota

Admission quota is as below.

Department of Leadership and Innovation

Major in Leadership and Innovation	Admission Capacity	Accommodation Capacity
	80	160

Section 2 Course Duration, Academic Year, Semesters, Holidays

Article 7 Course Duration

Standard length of the course is 2 years; the maximum period of enrollment is 5 years.

With regards to the extension period for international students, priority shall be given to the period indicated on the student visas issued by embassies, consulates, etc.

Article 8 Academic Year

The academic year starts on August 20 and ends on August 19 of the following year.

Article 9 Semesters

The academic year is divided into two semesters:

First Semester (Autumn Semester): August 20 through January 10 of the following
year.

Second Semester (Spring Semester): January 11 through August 19.

Article 10 Holidays

1. Holidays shall be as follows:
 - (1) Holidays prescribed in the Act of National Holidays;
 - (2) Winter holiday: December 12 through January 10 of the following year;
 - (3) Summer holiday: August 1 through August 10.
1. If necessary, the president may temporarily change the holidays in the preceding paragraph.
2. In addition to the holidays in paragraph 1, the president may appoint temporary holidays.

3. If there is a special need, classes may be held on holidays.

Section 3 Faculty and its Organization

Article 11 Faculty Organization

1. The University shall appoint the president, the head of department and the full-time faculty member. Additionally, up to five vice presidents can be appointed as necessary.
 - (1) The president shall govern the graduate school administration and supervise university staff members.
 - (2) The head of department shall govern faculty affairs.
 - (3) The president can also serve as the head of department.
 - (4) The vice presidents, in accordance with the instructions of the president, shall assist the president in administering operations of the graduate school.
 - (5) The head of department may concurrently serve as vice president, except when the president serves as the head of department.
2. As a general rule, the terms of office of the president, the head of department and vice president shall be four years. However, if there are special circumstances and the Board of Trustees approves, the general rule may be omitted.

Article 12 Faculty Board and its Members

1. The University shall appoint the Faculty Board.
2. The Faculty Board shall state the opinion of the president in making decisions on the following matters.
 - (1) Matters concerning classes / guidance and person in charge;
 - (2) Matters concerning student status, such as enrolment / leave of absence / withdrawal etc.;
 - (3) Matters concerning research results, examination of the completion and award of the degree;
 - (4) Student guidance and matters concerning reward and punishment;
 - (5) Other important matters concerning education and research recognized as necessary by the head of department and approved by the Board of Directors.
3. the Faculty Board shall be organized by full-time faculty members of the University, the head of the secretariat, the president, and concurrently appointed teaching staff as well as administrative staff appointed by the head

of department.

4. Matters concerning the operation of the faculty meeting shall be stipulated in the Regulations of the Faculty Board of Graduate School of Leadership and Innovation Shizenkan University.

Article 13 Staff Organization

The University shall appoint employees in charge of each task such as teaching, student correspondence, accounting, clerical work etc. Organization of staff shall be determined separately.

Section 4 Curriculum and Course Methodology

Article 14 Course Subjects and Course Method

1. Course subjects of the University and number of credits shall be as shown in Table 1; matters related to the course methodology shall be determined separately.
2. Should different media equipment be required, the classes in paragraph 1 may be carried out in other places than assigned classroom.
3. The classes in paragraph 1 might be taken in a foreign country.
4. The classes in paragraph 1 might be conducted at places other than the University building or attached facilities.

Article 15 Credits

The number of credits for each subject shall be composed of one credit per content requiring 45 hours of study, depending on the class methodology, class performance results, time necessary for studying outside the class hours etc., the credit number is calculated according to the following criteria:

- (1) Regarding lectures and seminars, one credit shall be given for the classes in the range from 15 to 30 class hours, (course duration specified separately).
- (2) With regards to practical training and practical skills, one credit shall be given for the classes in the range from 30 to 45 class hours, (course duration specified separately).
- (3) To calculate the number of units for classes, combining two or more methods such as lecture, seminar, practical training, or practical skill, according to the methods combination and considering the criteria in the preceding two

paragraphs, the University calculates the time necessary for 1 credit.

Article 16 Certification of Credits and Grades

Students who completed their designated courses and passed examinations or other methods of assessment shall be granted applicable credit.

Article 17 Requirements for Completion

To complete the course of the University, more than 41 credits shall be acquired for designated subjects.

Article 18 Award of the Degree

A person who completed the course of the University is awarded Master's degree in Design & Leadership for Societal Innovation.

Section 5 Admission, Withdrawal, Transfer, Leave of Absence and Graduation

Article 19 Qualification for Admission

Any person who satisfies any of the following conditions may be admitted to the master's course.

- (1) A person who graduated from a university.
- (2) A person who received a Bachelor's degree from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education of Japan (under Article 68-2, Paragraph 3 of the School Education Act (Act No. 26 of 1952)).
- (3) Those who completed 16 years of school education in a foreign country.
- (4) A person designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- (5) A person who satisfies the University as the one possessing appropriate academic ability and practical experience required for completion of the course at the University.

Article 20 Application for Admission

The payment for the application fee of 35,000 yen is required when applying for the University. However, when the University recognizes special circumstances, the president may grant an exemption of the application fee.

Article 21 Selection of Applicants

Procedure for selection of Applicants shall be defined separately.

Article 22 Admission Procedure and Admission Permit

1. A person who received a notice of acceptance based on the result of selection under the preceding Article shall submit the documents prescribed by the University by designated deadline and pay the tuition fee specified separately.
2. The president permits admission to those who completed the enrollment procedure described in the preceding paragraph.

Article 23 Transfer Students

If there are students from other graduate schools who express the intent to transfer to the University, the University will be able to approve the grounds and academic ability after reviewing the conditions.

Article 24 Study Abroad

1. Based on consultation with foreign graduate schools, the University may, if acknowledged as being beneficial for education, permit students to study abroad in graduate school.
2. When students study abroad pursuant to the provisions of the preceding paragraph, they are not subject to the leave of absence.

Article 25 Leave of Absence

1. The president may permit a leave of absence if a person cannot study due to illness or other unavoidable circumstances.
2. The president may request a leave of absence for the students who are considered unable to continue studies due to illness etc.

Article 26 Handling of Leave of Absence

1. The period of leave of absence cannot exceed two years in total.
2. It is not allowed to take examination in a given semester during leave of absence.
3. If the reason for taking leave of absence is resolved during the period of leave of absence, the student may return to the University upon obtaining permission from the president.

4. The term of leave of absence is not included in the period of enrollment stated in Article 7.
5. The tuition fee during leave of absence shall be determined separately.

Article 27 Withdrawal and Re-enrolment

1. Anyone who intends to withdraw must apply for a withdrawal and obtain permission from the president.
2. Re-enrolment might be permitted by the Faculty Board, if the request for re-enrolment is submitted within 3 years after withdrawal. In this case, the period of enrolment and credits before the withdrawal will be included in the prescribed period of school attendance and credits to be received.
3. Applicants who apply for re-enrolment must submit the documents prescribed by the University together with re-entrance fee.

Article 28 Expulsion

Those who fall under one of the following conditions, will be expelled by the president after the discussion with the Faculty Board.

- (1) Those who have exceeded the maximum period of enrollment stated in Article 7.
- (2) Those who neglected the payment of the tuition fee for one month or more.
- (3) Those who have exceeded the maximum period of leave of absence stated in Article 26 and are not able to study further.
- (4) Persons who are missing for a long period of time, such as communication at registered contacts is lost for one year.
- (5) Persons who were reported dead.
- (6) Those who were expected to obtain an immigration visa of "College Student" stipulated in the Immigration Control and Refugee Recognition Act and who are refused to issue visa.

Section 6 Regarding Enrolment Fee and Tuition Fee Collection

Article 29 Enrolment Fee and Tuition Fee

Enrolment Fee and Tuition Fee of the University is as below

Fee	Amount
Enrolment fee	200,000 yen
Tuition fee (1 st year)	2,400,000 yen

Tuition fee (2 nd year)	2,400,000 yen
------------------------------------	---------------

Article 30 Collection of Tuition Fee

1. Once the admission was granted, one shall pay enrolment fee, tuition fee etc. within the period, appointed by the University.
2. Current students shall pay tuition fees etc. per academic year or per semester. In case of payment in two installments, each payment must be made within the next period.

Semester	Period of Payment
1 st Semester (August 20 through January 10)	Until the end of July
2 nd Semester (January 11 through August 19)	Until the end of December

3. Tuition fees etc. must be paid even during leave of absence. However, if the leave of absence is for the entire period of the first or the second semester, the student is exempt from the payment of the tuition fee for that semester. Nonetheless, those whose leave of absence is approved shall pay a leave of absence fee in the amount specified separately.
4. In case of resuming studies during the semester, one must pay the tuition fee for the respective semester by the last day of the month.
5. In case of withdrawal (under provisions in Article 27, paragraph 2) or expulsion (under the provisions of Article 28) in the middle of semester, the tuition fee for the respective semester of withdrawal or expulsion shall to be paid.
6. According to Article 27, paragraph 3, those who are permitted to re-enroll shall pay the enrolment fee and tuition fee within the designated re-enrolment procedure period.
7. Application fee, re-entrance application fee and tuition fee once paid are not refundable. However, if a student, who had previously paid tuition fees etc. for the following semester before the beginning of the next year, withdrew, the pre-paid tuition fee for the following semester will be refunded. If the period of leave of absence coincides with full first or second semester, as defined in paragraph 2, the tuition fee for that semester will be refunded.

Section 7 Awards and Disciplinary Actions

Article 31 Awards

The president, upon discussion with the Faculty Board, may honor a person with superior personal or academic achievement and those with exemplary actions as students.

Article 32 Disciplinary Actions

1. The president, upon discussion with the Faculty Board, may impose disciplinary actions on a person who violates Regulations established by the University or behaves improper for a student.
2. There are three disciplinary actions: warning, suspension and expulsion.
 - (1) Warning – that the student be reprimanded and warned to correct negligence and to improve one's behavior.
 - (2) Suspension – that the student be suspended from the University or be barred from certain University activities for a stated period not more than 6 months.
 - (3) Expulsion – that the student ceases to be a member of the University and that he/she be barred from any property occupied by the University.

Article 33 Changes in the University Regulations

Revision or abolishment of the Regulations shall be approved by the Board of Trustees after discussion with the Faculty Board of the University.

Supplementary Provisions

These Regulations shall come into force on August 1, 2018.

Table1) Curriculum

Graduate School of Leadership and Innovation Shizenkan University

Category	Course Title	Year of Delivery	Unit of Credit			Course Forma		Remarks
			Compulsory	Elective	Optional	Lecture	Exercise	
Basic courses	Foundation for Leadership	Leadership challenges: What will be required for a leader who faces the world and shapes the future?	1FY/1st	1			○	<p>[Compulsory] 21 credits</p> <p>[Compulsory Elective] 1. Analysis of Environmental systems : 2~ 2. Business Essentials : 1~</p>
		Re-discovering the "self"	1FY/2nd	1			○	
		Designing one's professional career	2FY/1st	1			○	
	Analysis of Environmental Systems	What is a company for?: Exploring relationships among business enterprise, market and society	1FY/1st	1			○	
		Modern philosophy, capitalism and the future of human existence	1FY/1st	2			○	
		Understanding social structures and global diversity in light of religious thoughts	1FY/2nd	2			○	
		Social systems theory and the future of human existence	1FY/2nd		1		○	
		Japan: Its history and civilization	1FY/2nd		1		○	
	Business Essentials	Science and technology innovation and the future of human existence	1FY/1st		1		○	
		Market principles and corporate finance theory	1FY/1st	1			○	
		Financial analysis and levers for managerial control	1FY/1st	2			○	
		Systems thinking and challenges for sustainability	1FY/1st	2			○	
		Strategic management: Theory, frameworks and way of thinking	1FY/2nd	2			○	
		Design thinking and basics of marketing	1FY/2nd	2			○	
		Applied design thinking and creative problem solving	1FY/2nd	2			○	
Creating a business plan: Methods and practices		2FY/1st	2			○		
Logical thinking		1FY/2nd		1		○		
Specialized courses	Organization and Management	Marketing innovation for new market creation	1FY/2nd		1		○	
		Seeing into the future: Methods and practices	1FY/2nd		1		○	
		Business policy: Concepts and practices	2FY/1st		2		○	
	Entrepreneurship and Business Model Generation	Global management: Strategy, organization and leadership	2FY/1st		2		○	
		Managing business turnaround	2FY/2nd		1		○	
	Public Policy and Social Innovation	Entrepreneurship: Managing the startup	2FY/1st		2		○	
		Designing and evaluating business models	2FY/1st		2		○	
		Public philosophy and policy making	2FY/1st		2		○	
	Advanced courses	Mobilizing People	Strategic management for cities and communities	2FY/1st		2		○
			Social business and social impact	2FY/2nd		2		○
Managerial communications: Techniques to convey thoughts and vision			2FY/1st	1			○	
Decision Making and Negotiation		Managing people and organizations	2FY/1st		2		○	
		Leadership in transformation and innovation	2FY/2nd		1		○	
Leadership Challenges		Decision making as a leader	2FY/1st+2nd		2		○	
		Leadership and negotiation	2FY/2nd		2		○	
	Eastern philosophy and leadership	1FY/2nd	1			○		
	Living a life as a leader	2FY/2nd	2			○		
Project Works	Field study	Leading oneself through facing others and the world	2FY/1st		1		○	
		Body, senses and self-reflection (yoga and meditation)	1+2FY/Full		1		○	
		Zen meditation and self-reflection	1+2FY/Full		1		○	
Project Works	Group Projects	Field study to India	1FY/Recess		1		○	
		Group Workshop I : Overview of the global scenery - reconciling conflict of values	1FY/1st	1			○	
		Group Workshop II : Performing arts – A window to re-discover the world	1FY/2nd	1			○	
	Personal Projects	Group Workshop III : Facing and influencing people	2FY/2nd	1			○	
		Personal Project (business strategy)	2FY/Full		4		○	
		Personal Project (organizational strategy & development)	2FY/Full		4		○	
		Personal Project (entrepreneurship & intrapreneurship)	2FY/Full		4		○	
		Personal Project (social entrepreneurship & regional revitalization)	2FY/Full		4		○	
Personal Project (public policy)	2FY/Full		4		○			
Total(46 courses)			-	28	49	3	-	
Credits required graduation : 41~								